

令和2年度 第7回 高士区地域協議会 次 第

日時：令和2年11月20日(金) 午後6時30分～
会場：高士地区公民館 大会議室

延べ55分

1 開 会

【2分】

2 議 題

(1) 協議事項

【50分】

① 自主的審議について

1) 前回実施したグループワークの結果報告

2) 今後の進め方について

3) 年間スケジュールの確認

3 その他

(1) 次回開催日の確認等

【3分】

- 日時 : 月 日 () 午後6時30分から
- 開場 : 高士地区公民館 大会議室
- 内容(案) : 自主的審議について

(2) その他

4 閉 会

区分	グループ分け	委員から出た意見 【手順 1】	地域の声 【手順 2】	どんな取組があったらよいか？ 審議の方向性（案）	地域協議会での取組内容（案）
課題 (困っていること・心配していること)	町内活動等の担い手・人材不足	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の区外への転出 ・人手不足により、町内や地域の役員の負担が増える。 ・高齢化や人手不足により、将来町内活動が成り立たなくなる。 ・草刈や江浚いができなくなると町内の環境が悪くなり、治安が悪化する。 ・消防団の担い手不足 ・地域の核となる人材の確保、後継者の育成が必要。 	地域との意見交換(町内会長・地域活動団体・地域住民など)	(例) 若者の区外への流出対策	(例) 町内会長との意見交換
	空き家問題	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の増加により、管理(草刈り等)の負担が増え、高齢者だけでは管理しきれなくなる。 		(例) 空き家の活用・取り壊し (例) 空き家予防のための住民の意識啓発	(例) 空き家対策に関する市の取組や方針の把握 (例) 空き家の実態調査(町内で管理している空き家の数等)
	地域コミュニティの維持	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間の交流の機会が減少することで、まとまりや協調性がなくなる。 ・町内行事等の参加意識が低下している。 ・老人会や婦人会などの町内の伝統的な組織がなくなりつつある。 		(例) 世代間交流機会の創出	(例) 町内会長や地域活動団体との意見交換
		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の統廃合が現実になった場合、行事の運営が困難になる。 		(例) 地域行事の継続	(例) 学校の統廃合に関する市の方針や他区の事例の把握
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・高士小学校の複式学級(先生も少なく、学年によって授業のやり方や内容が異なるため児童の負担になっている) ・旧高士スポーツ広場の管理(建物が古く危険な状態で、グラウンドも荒れている) 		(例) 複式学級に関する市の方針の把握 (例) 保護者との意見交換	(例) 旧高士スポーツ広場の適切な維持管理 (例) 新たな利用方法の発掘
特長 (好きなところ・自慢したところ)	自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・四季に富んでいて、自然が豊か。 ・自然災害が少ない。 			
	地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・高士地区振興協議会を中心とした地域団体等の協力関係 ・若者が中心になれる活動(キャンドルイベント)がある。 ・区外に住んでいる人も行事の際は高士に帰ってくる。 ・高士小学校区青少年育成協議会が頑張っている。 ・地区だより「たかし」を毎月発行している。 ・ひとふさの会を母体とした住民福祉会ができたため、より高齢者が安心して暮らしていける。 		(例) 地域活動やイベントの更なる活発化	(例) 地域活動団体との意見交換
	歴史・観光資源	<ul style="list-style-type: none"> ・岩の原葡萄園、川上善兵衛 ・上江用水路が「世界かんがい施設遺産」に認定されている。 		(例) 観光資源の活用	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が穏やかで子どもたちも親切(一方で主体性がない、流されがち) 			
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・異業種の活動や話し合える場づくりをしたほうがよいのではないか。高士地区の酒屋や大工、屋根屋等の様々な業種の人たちが、活動したり話し合える場として、商工会的なものを作ってはどうか。 ・地域を引っ張る高齢者の活動が活発である。 ・過疎化しているなかでも楽しく賑やかな高士にしたい。 		(例) 異業種の活動による地域活性化	(例) 区内の商工業者との意見交換
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動支援事業を若い世代から知ってもらい、活用できる機会を創出することで地域活性化につながるのではないか。 		(例) 地域活動やイベントの活発化	(例) 地域活動団体との意見交換
				(例) 若い世代が地域活動支援事業を知るきっかけづくり	(例) 若い世代を対象とした地域活動支援事業の説明会の開催(H26・27年度に実施し、これをきっかけに高士ルミネが誕生) (例) 採択方針への反映

項目	詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
A 自主的審議	研修						【第5回協議会】 ○高土区の概要		※(必要に応じて)会議運営に関する研修等	適宜	★研修、審議、意見交換等の中で見えてきた課題等を次年度の地域活動支援事業(募集要綱・採択方針等)に活かす。 【第1回協議会】 ○自主的審議テーマの検討・決定				
	審議							【第6回協議会】 ○身近な地域の課題や特長の洗い出し	【第7回協議会】 ○意見の整理・今後の進め方の協議						
	地域との意見交換等									※(仮)地域との意見交換会					
B 地域活動支援事業	令和2年度事業	○当初募集(4/1~4/27)		【第2回協議会】 ○ヒアリング	【第3回協議会】 ○審査、採択 ○追加募集(7/27~8/17)	【第4回協議会】 ○追加募集分の提案書の確認	【第5回協議会】 ○追加募集のヒアリング、審査、採択	【第6回協議会】 ○採択結果の検証・課題等の洗い出し				(反映)			
	令和3年度事業										【第1回協議会】 ○募集要綱・採択方針等の決定(自主的審議の反映含む)			○募集	
C その他 ※	協議会だよりの発行(全戸配布)				○第35号(主な内容)新委員紹介・地域活動支援事業採択結果・追加募集の周知			○第36号(主な内容)地域活動支援事業(追加募集分)採択結果・活動報告・前年度の地域活動支援事業の紹介			○第37号(主な内容)新年のあいさつ・活動報告・事前説明会の開催告知			○特別号(地域活動支援事業応募の手引き)	
	市からの諮問・報告事項等					【第4回協議会】 ○「公の施設の再配置計画」の策定について				随時					
	地域活動フォーラム(市主催)									※令和元年度は11月に開催					
	その他		【第1回協議会】 ○会長・副会長の選任ほか							○地域協議会会長会議の開催(11/25)					

【メモ】

高士区地域協議会委員が考える【高士の未来予想図・願望】とそれに対する【課題など】

参考資料1
平成29年1月27日開催
高士の未来づくり懇談会

No	I 農業をはじめとする高士区の産業活性化策を検討したい		No	IV 地域内外の住民との交流を拡大するための方策を検討したい	
1	☀️(願望)	高士地区のブドウで、県内外から沢山の人が集まる観光スポットをつくりたい	14	☀️	地域内外に向けた「田植え・稲刈り・ブドウ収穫ツアー」を開催したい
	☂️(課題)	旧高士中学校跡地の整備、飯田川河川敷の整備(子どもから高齢者までが集まりやすい場所にする必要あり)		☂️	人集めのノウハウを学ぶ必要あり、受入先の組織編成が必要
2	☀️	空いている田畑を利用して、野菜等の収穫体験ができるようにしたい	15	☀️	「高士」と聞いて誰でも分かる地域にしたい
	☂️	仕組みや方法について勉強する必要がある		☂️	PRが足りない(PR方法を考える必要あり)
3	☀️	農産物の直売所をつくりたい(そこで、手作りの品物も販売したい)	16	☀️	高士区の知名度を上げるため、地域内外の人が集まる場所、イベントを企画したい
	☂️	野菜を作っている家が多いため、毎日開いても、人が来て売れるかを検討する必要がある(どうしたら毎日のように人が集まるか考える)		☂️	発信方法の習得、時代の流れに沿ったイベントが行えるか
4	☀️	旧高士中学校跡地を活用し、教育と産業を組み合わせた新しい産業、岩の原ブドウを使った加工品の開発	17	☀️	高士区を「ドローン特区」にする(農業散布や害鳥退治、行方不明者捜索、災害時の現場調査が容易にできる・ドローンを使った産業の誘致にもなり、ドローン大会や講習会が開催されることで、県内外から高士区へ来るきっかけになる)
	☂️	事業を行ってくれる人や企業、団体等の発掘が必要		☂️	地域住民のドローンに対する評価したい(どれだけ理解を得られるか…)
5	☀️	高士区を「どぶろく特区」にする(農家が製造に参加でき、「高士米を使ったどぶろく」として全国へ発信・高士独自のどぶろくスイーツの開発)	18	☀️	高士区の野菜や米、民芸品やお土産を扱う「道の駅」をつくる
	☂️	協力してくれる農家がいるか		☂️	場所と予算
No	II 持続可能なコミュニティのあり方を検討したい		No	V 運転ができなくなっても安心して生活していくための方策を検討したい	
6	☀️	高士区の美しい伝統(団結力・仲間意識)を継承、発展させ、地区の各種組織(町内会・婦人会など)に若年層と女性を取り込み、活性化させたい	19	☀️	岩の原葡萄園周辺に温泉を掘り、老人ホームやホテルを誘致できないか検討したい
	☂️	少子化に伴う小学校の統廃合が不安、また若年層が集まって話し合う場(機会)がない		☂️	仲介業者など、協力してくれる人がいるか
7	☀️	子育てしやすい高士区をつくりたい	20	☀️	自分たちのやりたいことができるコミュニティ(同志の集団)をつくりたい ※同志=やりたいことの共感を持つて人々の集団
	☂️	現在は、地域の中で半日・一日を通して遊べる場所がない		☂️	基地となる場所の選択・提供、核となる施設または人をどうするか
8	☀️	仕事を退職した後も、この地域で楽しめるものがある高士区にしたい	21	☀️	地区内外の人が誰でも気軽に歩ける散歩コースをつくりたい
	☂️	地域の中に、「高齢になってもできること」、「場所」が足りない		☂️	散歩コースを整備しても、「町内会長や役員だけが知っている」状況では、個人まで情報が広まらないので、その方法を検討する必要がある
9	☀️	子育てがしやすく、老若男女が安心して永住できる高士区にしたい	22	☀️	高士区をもっと知ってもらうためのポスターを制作したい・テレビや有線を活用し、高士区のイベントを広くPRしたい
	☂️	安定的で、農業以外の職場が少ない		☂️	イベントの結果を載せるのではなく、「これから行うイベント」をPRする必要がある
10	☀️	地域の各個人が持っている技能・特技などを掘り起こすため、「なんでも大会」のようなイベントを開催したい	No	VI 運転ができなくなっても安心して生活していくための方策を検討したい	
	☂️	地域住民の参加を増やすため、もっと「高士」に興味を持っていただく必要がある	23	☀️	暮らしに夢のある高士をつくりたい
11	☀️	子ども・若者・高齢者が当たり前で共存できる地域づくり		☂️	どんな人がどんなことを考えているのか(地域の中でやってみたいことなど)を共有する場がない
	☂️	3世代が一緒にできる事や場所がない(老→子に教える、子→老に教える等の仕組み)	24	☀️	安全安心な交通環境の整備をしたい(日用品などの入手方法、通院方法)
12	☀️	高士の春夏秋冬で、それぞれにミニスポットがあると思うので、それをPRしたい(葡萄園はもちろん、飯田川の桜など…知名度を上げたい)		25	☂️
	☂️	スポット周辺の環境整備が必要	☀️		老後に不安のない高士区をつくりたい
13	☀️	高士小学校・高士保育園の近くを宅地造成し、団地をつくりたい	26	☂️	現在は地域の中で高齢者が活躍できる機会がない
	☂️	仲介業者など、協力してくれる人がいるか		No	VI その他(I ~ Vには当てはまらないもの)
14	☀️	高士区を「どぶろく特区」にする(農家が製造に参加でき、「高士米を使ったどぶろく」として全国へ発信・高士独自のどぶろくスイーツの開発)	26	☀️	旧高士中学校の跡地(グラウンド)に、子どもたちが遊べる遊具や広場、ドッグランなどをつくりたい
	☂️	協力してくれる農家がいるか		☂️	維持管理(草刈りなど)の方法、遊具の危険回避、管理人の有無、使用料金の設定など

【高士の未来づくり懇談会】グループワークのまとめ

参考資料 2
平成 29 年 1 月 27 日開催
高士の未来づくり懇談会

① 将来こんな地域になってほしい・よいところや自慢

- こどもが安心して遊べる地域になってほしい
- 家から見える妙高山、北方や南方から見える夜景が素晴らしいので、もっと多くの人に知ってもらいたい
- 自然に恵まれ、安心して暮らせる場所だと思う
- 高士小学校の生徒が取り組む「善兵衛学習」が素晴らしい
- 団結力と実践力がある
- 自主的に発足した「地域を支える団体」が多い（ひとふさの会、婦人会など）
- 自然に恵まれている
- 地域の中に絶景ポイントが多くある
- 体育大会をはじめ、地域全体で取り組む行事が素晴らしい
- 住民主体の組織がしっかりしている
- 住民同士のコミュニケーションがとりやすい地域
- 新しい取組を実践することで、高士区の良さを多くの人に知ってもらい、注目される地域にしたい

② 地域でこんなことをやってみたい

- 地域の自慢スポットを探して紹介したい
- 飯田川堤防の桜並木が素晴らしいので、観桜会を開催したい
- 空き家をシェアハウスとして活用できないか検討したい（保育園や小学校が近接しており生活しやすいメリットを生かすことで、ターゲットをシングルマザーに絞りシェアハウスを低価格で提供するなど、対象者を限定することで人が集まるのではないかな）
- ワインや地酒を活用した地域活性化策を検討したい
- スポーツを通して地域を盛り上げたい
- 旧高士中学校跡地（高士スポーツ広場）が公の施設として廃止になる前に「記念事業」を実施したい
- 高士区のホームページを作成したい
- 高士の良い所マップを作成し、ホームページを立ち上げてPRしたい
- 桜並木をもっと繋げて名所にし、人を集めたい
- 自転車に特化した公園や自然を活用した迷路のある公園をつくるなど、特色あるもので外から人を呼びたい
- 高士区内にランニングコースや散歩コースをつくり、マップにして発信したい

③ 課題や不安

- 高士の知名度が低い
- 地元企業にもっと協力してほしい
- 青年会がない
- 人口減少が進み不安
- ビジョンが決まった時に、そこからどうやって実現していくかが分からない
- 街灯の少ない場所があり夜間が怖い
- 人口減少（特に少子化）が不安
- 空き家の増加が不安

④ 懇談会の結果を踏まえた今後の方向性など

- 人口減少が大きなキーワードになる
- 出てきた課題や未来像を絞り込み、自主的審議のテーマを決める
- テーマを絞って、もう一度地域の皆さんと懇談会を実施する
- 継続して地域の皆さんと意見交換をしたい
- いつも同じメンバーではなく、もっと多くの住民から参加してもらい意見交換を実施する

【メモ】

